

読響

Yomiuri Nippon
Symphony
55th
Orchestra
55th Anniversary

ルイージ

YOMIKYO SUMMER FESTIVAL 2017

全身の血が煮えたぎる!
ルイージと読響の最高に熱い夏。

R.シュトラウス:交響詩「ドン・ファン」作品20
R. STRAUSS: Don Juan, op. 20

ハイドン:交響曲第82番「熊」ハ長調 Hob.1:82
HAYDN: Symphony No. 82 in C major, Hob.1:82 "Lours"

R.シュトラウス
交響詩「英雄の生涯」作品40(第1稿)
R. STRAUSS: Ein Heldenleben, op. 40

指揮= **ファビオ・ルイージ**
Conductor= FABIO LUISI

コンサートマスター=長原幸太
Concertmaster= KOTA NAGAHARA

読売日本交響楽団サマーフェスティバル2017 ルイージ特別演奏会
Yomiuri Nippon Symphony Orchestra Summer Festival 2017 "Special Concert"

2017 **8.24**(木) 19:00 東京芸術劇場コンサートホール
S¥6,000 A¥5,000
Thursday, 24th August, 2017 19:00 / Tokyo Metropolitan Theatre

2017 **8.25**(金) 15:00 横浜みなとみらいホール
S¥6,000 A¥5,000 学生(要学生証)¥2,000
Friday, 25th August, 2017 15:00 / Yokohama Minato Mirai Hall

読響チケットセンター 0570-00-4390(10時-18時・年中無休)

主催:読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団、東京芸術劇場(24日)
協力:横浜みなとみらいホール(25日) <http://yomikyo.or.jp/> <http://www.geigeki.jp/>

東京
芸術
劇場

Tokyo
Metropolitan
Theatre

熱い「うたごころ」全開のR.シュトラウス傑作選

イタリアは世界に冠たる「歌の国」。イタリア生まれの音楽家たちが皆、豊かなくうたごころを有しているのは道理だろう。音楽用語で“歌うように”を意味する「カンタービレ」の効いた音楽作りを得意とするイタリア人指揮者が、アルプスを越えてオーストリアでみっちり腕を磨き、ドイツ系の作品にも優れた適性を身につけたら——。向かうところ敵なし、である。

世界的巨匠の系譜に連なるイタリアの大物指揮者は、多くがこのルートをたどってきた。現在の筆頭格のひとりが、1959年生まれのファビオ・ルイーダ。

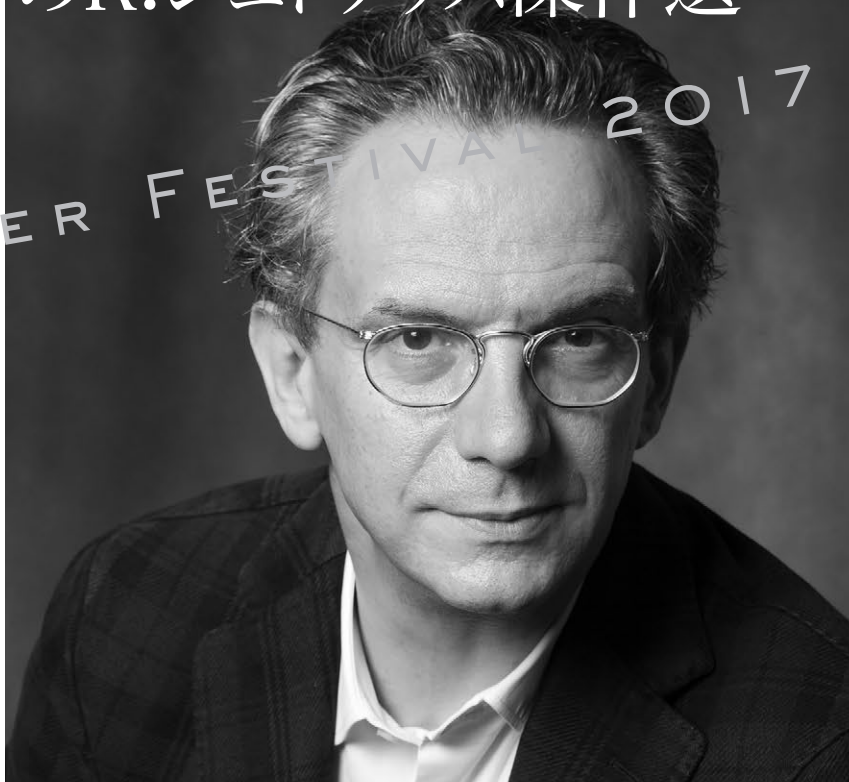
ジェノヴァで生まれたルイーダは、パガニーニ音楽院を経てオーストリアのグラーツ音楽院で指揮法を学んだ。その後、グラーツ響やウィーン・トーンクンストラ管で力を蓄え、ライブツィヒ放送響やウィーン響の重職に歩を進めた。この辺、ドイツ系のレパートリーを現地でじっくり身につけていった周到なキャリア作りが際立つ。

初めてのワールド・クラスのポストとなったドレスデン国立歌劇場およびドレスデン・シュターツカペレの音楽総監督で、名実ともにオペラとコンサート双方で力量を認められ、世界的なマエストロに登り詰めた。

ドレスデン国立歌劇場は、リヒャルト・シュトラウスのオペラをいくつも世界初演した伝統を誇る超名門。その歌劇場専属オーケストラであるドレスデン・シュターツカペレには、R.シュトラウス演奏の極意が脈々と受け継がれている。ルイーダはドレスデン在任中、この楽団と、ソニー・クラシカルへR.シュトラウス作品を集中的に録音した。

それらを聴くと、イタリア人らしい熱いくうたごころと、ドイツ系の作品特有の緻密な構成やがっしりした骨格の表出とが絶妙にバランスした、ルイーダならではの世界に魅了される。そんな美質は、初共演となる読響との「ドン・ファン」「英雄の生涯」でも全開となるに違いない。

もちろん本場仕込みの古典派も期待十分。ハイドン「熊」は2015年8月のセイジ・オザワ松本フェスティバルでも好評だっただけに、ウィットに富んだ快演になるだろう。



ファビオ・ルイーダ (指揮者)
FABIO LUISI, Conductor

世界の一流楽団やオペラハウスで活躍する熱きイタリアの名匠。コンサートでは古典派から現代作品まで、オペラにおいてもイタリア物とドイツ物の双方で高い評価を得るなど、幅広いレパートリーを誇る。現在、チューリヒ歌劇場の音楽総監督、メトロポリタン歌劇場の首席指揮者、デンマーク放送響の首席指揮者を務めている。2018年春には、フィレンツェ歌劇場の音楽監督に就任する。

2016年シーズンは、ミュンヘン・フィル、ミラノ・スカラ座フィル、ロンドン響、フィラデルフィア管、サンフランシスコ響など世界各地の楽団に客演。メトロポリタン歌劇場では6年間務めた首席指揮者としての最終シーズンを締めくくる。これまでウィーン響の首席指揮者、ドレスデン国立歌劇場とドレスデン・シュターツカペレの音楽総監督、ライブツィヒ放送響の芸術監督、スイス・ロマン管の音楽監督、ウィーン・トーンクンストラ管の首席指揮者、グラーツ響の芸術監督を歴任。日本においては、N響やセイジ・オザワ・松本フェスティバルなどに客演し、PMFの芸術監督を務めた。CDやDVDも多数リリースしており、ヴェルディ、ワーグナー、R.シュトラウス、ブルックナー作品などで数多くの賞を受賞している。



Barbara Luisi © BALU Photography

読売日本交響楽団 サマーフェスティバル2017 ルイーダ特別演奏会

2017年 **8月24日** (木) 19時開演

東京芸術劇場コンサートホール 東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111
S ¥6,000 / A ¥5,000

● JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分(* 駅地下通路2b出口と直結しています)

読売日本交響楽団 サマーフェスティバル2017 ルイーダ特別演奏会

2017年 **8月25日** (金) 15時開演

横浜みなとみらいホール 神奈川県横浜市西区みなとみらい12-3-6 Tel. 045-682-2020
S ¥6,000 / A ¥5,000 / 学生券(要学生証/25歳以下) ¥2,000

● 東急東横線直通・みなとみらい線「みなとみらい」駅 クイーンズスクエア横浜連絡口 徒歩3分
● JR京浜東北線・根岸線、横浜市営地下鉄「桜木町」駅 動く歩道からランドマークプラザ経由でクイーンズスクエア1階奥 徒歩12分

【読響サービス】東京芸術劇場には一時託児施設があります。長谷川キャリアサポート(株) わらべうたBS課 0120-415-306(土・日・祝祭日を除く平日、9時から17時まで) / 横浜みなとみらいホールでは「託児サービス」を提供しています。(株)明日香 045-316-5539 ● 学生券(要学生証/25歳以下): 24日公演において、学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。 ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390
*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択してチケットをご購入いただけます(一部、携帯電話、スマートフォンなどを除く)。*郵送でチケットを受け取る場合、送料は無料です。

プレイガイド | チケットぴあ 0570-02-9999 | 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296(24日) | 横浜みなとみらいホールチケットセンター 045-682-2000(25日)